社会福祉法人
放泉会

もえぎの里

社会福祉法人 放 泉 会
大田市三瓶町池田2661-3
Tel.0854-83-2345
E-mail:info@sawarabi.info
http://sawarabi.info/
平成30年7月10日発行

ごあいさつ

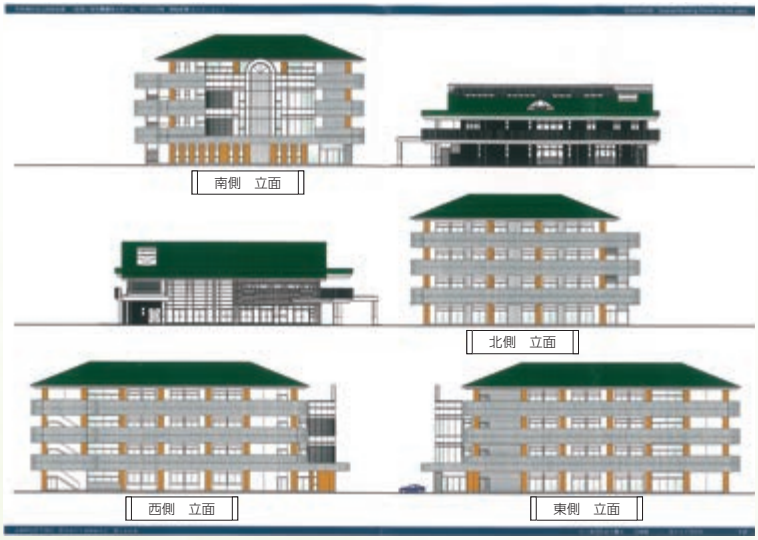
社会福祉法人 放泉会 常務理事　瓜坂 尚之

昭和六十年四月に開苑したさわらび苑も、たくさんの皆様に支えられ、この春三十三年が経過しました。その間、我々を取り巻く制度、環境も変化し、介護保険施行により「措置」から「契約」等々、大きく様変わりしました。

一番の大きな違いは、当時、利用者の方が過ごされる居室は四人部屋でしたが、三十三年経過した今日では、ユニット型個室が主流となりました。ユニット型の特徴は、少人数での生活です。少人数で小さなテーブルを囲んで食事を食べる等、ごく普通の家族の日常風景がユニット型です。また、これまでの集団ケアから個別ケアへ、プライバシーを保つことでストレスを軽減し、より一層きめ細やかな介護を実現することがユニット型特養の目的と特徴となります。

そのような中、現在、さわらび苑は、平成三十一年度中に長久町土江（サンチャイルド長久さわらび園の西側）に移転を計画しています。仮称ではありますが、「サンシルバーさわらび」とし、全八十室個室の四階建です。

そして、日本を代表する写真家の藤井保氏（三瓶町池田出身）に、建物のコンセプトに対し多くのアイデアを頂いています。基本コンセプトとして『山』『海』『空』をイメージした実施設計の段階にあります。



制度、建物は変われど、我々の福祉に対する思いは変わらず、基本理念「福祉は人なり」の下、多様なサービスを提供し続けたいと思います。

皆様からお寄せいただいた今までのご支援に感謝申し上げ、今後とも変わらぬご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

梅雨空の夕べのひととき、あの日・あの時にタイムスリップ

かなぎ園30周年 ～ 創設者 佐々木澄江 元理事長を偲んで ～ 感謝の会

社会福祉法人 放泉会 統括施設長　瓜坂 恭子

○老人福祉事業をはじめ、特別養護老人ホームの運営も初めてでありましたが、大田市のさわらび苑で実習させて頂き大変お世話になりましたことを想い起こし、この場を借りて感謝致します。
～（池田嘉之理事長式辞より一部抜粋）

○人口5,000人弱の金城町は正に福祉の町であります。今日までの「かなぎ福祉会」の御功績を讃え、益々の御繁栄をお祈り申し上げます。　～（御来賓の祝辞より一部抜粋）

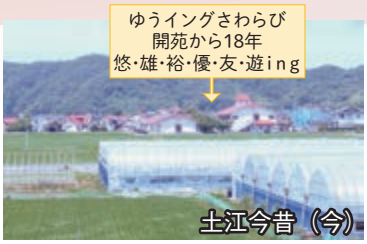
○「わぁ～苑長！懐かしいわ～その節はお世話になりました。」永年勤続者の表彰者の多い事に感服！あれから30年…お互いに年相応の姿でしたね。　～（統括苑長 瓜坂恭子）

○献杯　数々の功績とお人柄をお偲びし感無量の私でございます。想いは尽きませんが御冥福をお祈り申し上げ…献杯！
（理事長 瓜坂正之）

○余興にて石見神楽の大蛇が舞う中…懐かしさと感謝の余韻に浸りつつ浜田を後にしました。

2019年 長久町土江・今昔物語

ゆうイングの前の舗装された道路を挟んでサンチャイルドさわらび園がある辺り、昔は轍がある道で（昔と言われて、何時の頃と聞かれても、はっきりとしたことは言われませんけど…）広々とした田園風景が広がり、９号線を走る車や一日に何回か通る汽車が、自分たちの居る『静』の環境から、時々『動』の環境を感じられる穏やかな田舎だった様に思います。田舎と言えば不便、住み難いと言うイメージですが大型スーパーなどのお陰で【買い物難民】になる事もなく、立地条件も良くなってきています。最近では、ゆうイングのすぐお隣に三角形の屋根でモダンな外観の音楽教室が新築中でありますし、また昔のように土江にも理髪店（美容院）が近々出来るそうで、便利な環境へと変わって来ました。これから先一年四～五ヶ月後の長久町土江の風景を想像出来ますか？人それぞれ生活環境で受け入れ方も違ってくると思いますが、安心感を得られるシルバーゾーンが確立されていきます。昔の様に『静』と『動』の共存共栄の長久町土江が保たれて、安心感倍増と成ることを願っています。



人は心 こころはあい

さわらび畑

３月に開通したばかりの山陰道、朝山・大田道路の上り線大田中央ＩＣを入ってすぐ左手に「さわらび畑」と、大きな看板が掲げられています。職員のご家族に畑の専門家がおられ、その無機質な看板の柱をゴーヤの支柱に活用をというアイデアと共に協力して下さいました。朝に夕に水やりや様子見に大変尽力していただいています。

看板の後ろには、ヤマコウバシ・カツラ・コナラ等の木々を植えました。この木が成長するとその木陰で畑仕事の合間にちょっと休憩ができるでしょう。その木々の奥にさわらび畑があります。チャイルドの子どもたちが植えたサツマイモ畑の隣に、これまた別の職員のご家族が育てて下さったキュウリの苗やナス・トマト・オクラ等の夏野菜やスイカ・メロンを職員の手で植えました。収穫を楽しみにしている昨今です。

先日は３本のブルーベリーがいつの間にか植わっていました。情報では、ご近所の方が植えて下さったそうです。気楽に立ち入って頂き､嬉しい和がどんどん広がっています。

滑り台やミニバスの遊具もあります。お散歩途中の休憩の場として利用していただく事も歓迎しまーす！

さわらび苑利用者の外出支援からの学び

４月の担当者会議にて、利用者家族より「新しい家をおやじに見せてやりたい」と強い希望があり、外出支援を行いました。

この度の外出支援をするうえで、事前の家族との電話でのやり取りをはじめ、自宅のハード面での事前調査、家族との直接の打ち合わせ等を何度か行い、外出に伴う課題を一つ一つクリアしていきました。

利用者様には、体調面での不安が多くあり、嘱託医に相談したところ、当日は利用者の自宅近くにいるから何かあれば対応できるとの後押しをしていただき実現することができました。

当日は天候にも恵まれ､「おやじ、お帰り」とご家族様が玄関で声を掛けられ、家の中へと入りました。普段は口数の少ない方ですが、家族様の前では、私たちには見せられない表情、また会話が聞かれ、自宅、ご家族の力を感じることができました。帰苑されてからも「良かった」と利用者、ご家族より言葉を頂きました。

部門を超え多職種の連携、協力により今回の外出支援を無事に行うことができました。

今回の支援を通し､一人ひとりの利用者、又それぞれのご家族の思いに耳を傾け、法人理念に沿った利用者満足、家族への安心が提供出来るよう、ご家族との繋がりを大切にし、多職種連携のもと個別ケアの充実につなげていきたいと思います。

新しい家を見られ安心されたかのように、先日84歳の生涯を閉じられました。「おやじ！新しい家だで～」とのお言葉…きっと誇らしく喜ばれていたことと思います。ご冥福をお祈り申し上げます。

ある日のデイサービス

～デイサービスセンターゆういング～

春、２階のテラスから満開の桜のお花見！

すると、いつしか１階の特養の入居者様と職員みんなの交流の場に！

１階と２階で声を掛け合いながらのお花見。自然と歌を口ずさまれる方がお一人、そしてまたお一人、お二人と歌の輪が広がってとても楽しいハーモニーが響き渡りました。そのハーモニーに乗るかのように桜の花も踊っているようでした。

春が過ぎ、初夏を迎えた今もデイサービスは花盛り。ご利用者のみなさまがご自宅よりお持ち下さった花々がデイルームに彩を添えています。

お花の話題から話に花が咲き笑い声が絶えないデイサービスゆういングでした。

ある日の稲積さわらび庵

６月７日（木）通い場づくりの「池田すこやかクラブ」の皆様がご利用くださいました。

24名の皆様とスタッフの方７名の総勢31名が見学を兼ねての訪問。

玄関を入るなり「ほーっ！立派なもんだ！」「はー、みごとなもんだなぁ」「へー、こりゃあ凄いな」と口々に感嘆の声をあげながら見学されました。

その後広間でグループに分かれて、レクリエーションをしながら頭の体操。

「ヒント、ヒント！」「おー！そうだ、そうだ」と高度な問題も皆さん力を合わせてクリアして行かれていました。

昼食の後は､ここでも放泉会名物女優の「おばば」が登場して「一日五笑」で笑いを誘い、笑いの後は､自慢のお茶室でお点前を一服しっとりと召しあがり､賑やかさと静寂の時間を楽しまれていました。

お知らせとお礼

今まで駐車場の不便を感じていた為、実の生る木を伐採するには忍びなかったのですが、この度、男性職員総出で駐車場整備を行いました。

駐車場も徒歩０分の位置に完備出来ました。皆様お気軽にご利用下さい。

また、この場を借りまして、いつも温かく見守って下さる近隣の皆様に支えられていることに感謝し、御礼申し上げます。

愛は人

瑞風

ゆうイングの窓から

プァ～ン！と、ひときわ長く汽笛を鳴らし重厚感あふれる趣で走るのは、一年前の2017年６月に運行を開始した、西日本旅客鉄道「トワイライトエクスプレス瑞風」です。

運行当初は、通過するのを見逃さないようにと、温泉津の駅長さんがチャイルドの子どもたちの為に事前連絡をして下さったこともありました。今は随分定着してきましたが、１～２両編成の電車を見慣れている私たちにとっては何両にも渡る電車は大人でもワクワクします。

６月の下旬、大きくて長い汽笛に「瑞風だ！」とゆうイングの事務室に居合わせた職員は窓外に目をやりました。「私、初めて見た～」と１年経った今でも“初めて”に感動したのは厨房の調理スタッフ。厨房（調理室）からは電車が走る姿は見えないので初めてだったとか…。その数日後には汽笛は無かったものの、またも瑞風通過！いつも汽笛が鳴るのは午後ですが、この日は午前…臨時列車だったのでしょうか？それでも一週間に２回も見られたのは初めてだったので何だか得した気分になったのです。

あまり変化が無いといわれている施設の毎日に、こういった日常とは違う変化があることはとても良いことだと思います。「次はいつかしら？早速ダイヤを調べなくちゃ」とワクワクが待つ楽しみに変わっていくのです。

おいしく！楽しく♪いただきます

栄養課では食生活に楽しみを持っていただけるよう、日々取り組んでいます。

誕生日には希望献立を提供させていただいています。お寿司や赤飯を希望される方が多いのですが、「昔、食べたイチゴの乗ったケーキが食べたい！」という方も…。「いかがですか？」と聞くと、「昔を想い出したヨ～」と、満面の笑みが見られた時は私達が最も嬉しい瞬間でした。

また、端午の節句では献立を通して童心に返って頂こうと“鯉のぼり型オムライス”をお出ししました。子供っぽいと怒られるかしら～？と心配したのですが、その心配は無用で「わぁ、こんな変わったごちそう初めて♪」「かわいいわ～♡」と完食でした。

これからもたくさんの笑顔溢れる食卓になるよう頑張りたいと思います。

毎年恒例の北三瓶中学校との七夕交流会

北三瓶中学校の皆様を迎えて、本来なら７月７日（土）が七夕ですが、７月６日（金）に１日早い前夜祭ならぬ、前日祭の七夕交流会を行いました。

毎年、この時期になると「そろそろ北三瓶中学校の生徒さんが来るから、一緒に折り紙が折りたいわ」とご利用者の声。七夕会までに短冊や笹飾りを作り、今日の日を心待ちにしておられました。

しかし、天気予報はあいにくの雨。大きなてるてる坊主を作り、「晴れますように」とお願いしながら、当日を迎えましたが・・・願い叶わず、外は土砂降りの雨。どうやら職員で雨男がいるようです。

七夕会ではご利用者の皆さんが書かれた願い事・短冊を紹介し、生徒さんによる『猿カニ合戦』の劇、浴衣･仮装のファッションショーが行われ、最後は「北三瓶、最高！」とご利用者からの歓声が上がり、雨を忘れるくらいに盛り上がりました。

７月７日の七夕の日はどうか晴れて、彦星と織姫が出会えますように･･･とお願いしつつ、もう少してるてる坊主を飾っておきたいと思います。

百寿　　傘寿　　米寿

七夕の日　華やかな浴衣姿の三寿を迎えられた三人娘

長久いきいき会開所式

先の地震により長久まちづくりセンターの建物が被害を受けたため、ゆうゆう学童クラブを会場として通い場づくり「長久いきいき会」の開所式が行われました。

開所式を前に環境整備・環境美化に放泉会を挙げて取り組み綺麗になった学童でお迎えをしました。

開所式では、会長あいさつ来賓あいさつと和やかに進み、余興には、放泉会名物・放泉会の大女優「おばば」が大抜擢され軽快な出雲弁で会場を大いに盛り上げました。

ご利用者20数名に対しボランティア・サポーターの方がその倍以上参加され、会場は長久町の高齢者の皆様をサポートしていこうという熱気に満ち溢れていました。

ゆうイングさわらび・サンチャイルドの地元長久に２年後、33年の歴史を持つさわらび苑が移転します。放泉会にもこの皆様の熱い思いでご支援を宜しくお願いいたします。

七夕 エリーナ姫がやってきた

♪ささのは　さらさら～　七夕の前日、サンチャイルドとゆうイングに、天から歌声と共にエリーナ姫が舞い降りてきてくれました。この日は、サンチャイルドの職員の寸劇に合わせ、季節の歌を数曲歌って下さいました。

エリーナ姫とは数年前より、七夕やクリスマスに歌のボランティアでお越し頂いている音大出身の山﨑瑛里さんです。

エリーナ姫は、優しく・深く・心に響く歌声で、正に“聞き惚れる”という言葉がぴったりでした。優しさに包まれた中、最後の曲を終えたとき、自然と「アンコール」の掛け声が…。

利用者のリクエストは「ふるさと」。エリーナ姫の歌声に皆でしみじみと聞き入り、いつしか自然と皆で口ずさんでいました。

七夕はあいにくの天気になり彦星と織姫が出会えたのか…。しかし、チャイルドとゆうイングの皆の心は、晴れ渡っていたことと思います。

大判焼き！暑！熱！

５月、初夏は紫色の花をよく観賞する事が出来ます。「いずれがあやめか、かきつばた」そんなことわざを聞かれる季節に紫の色がお似合いだと思い、あやめの看板で、池田のさひめ女性の会の５名のボランティアの皆さんをお迎えしました。３月に初めて大判焼きに挑戦されてから２ヶ月が経ち、あの時の体験を生かされ、今回は手慣れたもの‼利用者さんの、まだかまだかの熱い視線を受けながら、鉄板の熱風との戦いも、連係プレーの掛け声で、ものともせず…いつしか『あうん』の呼吸で大判焼きが次々と出来上がっていきました。仕上がりはとても綺麗な焼き色で、あんこもはみ出ることなく…⁇（笑）大判焼きが大好きな利用者の皆さん、出来立て熱々の大判焼きを２、３個食べられた方もおられました。楽しいひと時は、あっという間。さひめ女性の会の皆さんから「また作りたいね～」というお言葉。その表情は、技術向上を確信され誇りに満ちておられました。次回の屋台がますます楽しみです。またのお越しをお待ちしております。

デイサービスセンターさんべ

デイサービスセンターさんべでは、世界有数のラジウム含有量を誇るラジウム鉱泉を利用した鉱泉入浴で、利用者の皆様に大変喜んでいただいています。

「いい湯だなぁ」思わず口ずさんでみたり…湯船で手足を思いっきり曲げ伸ばしたりと自然体のリハビリを行われる方もあります。

入浴後には、鉱泉でほぐれた筋肉を使い、それぞれリハビリに取り組まれます。

体操、リハビリ機器を使っての筋力アップ、ウオーターベッド等など真剣そのものです。

この度、お風呂までをグリーンロードと命名し、季節感あふれる植物、お花を飾り、自然の風に乗って涼やかな風鈴の音色、異空間を演出しています。

放泉会の職員の協力のもと、午後からは、日替わりでハンドベル、腹話術、指体操、手話、手品などで楽しんでいただき、また来たいと言っていただけるサービス内容に努めています。

利用者満足に繋げ、選んでいただける事業所をめざし更に努力していきます。

皆様のご利用をお待ちしています。

災害ボランティア

４月に起きた大田市を震源とする島根県西部地震では、大小ありますが、多数の被害が出たと報道されています。幸い当法人では、利用者に対する被害はなく建物周辺の物損被害のみでした。

地震発生に伴い、大田市では災害ボランティアセンターを設置され、各地からのボランティア受け入れをされています。その一助となればと、全国各地…遠くは横浜・愛知など遠方から来て頂いたボランティアの方の宿泊先に、グループホーム前に位置する法人の研修棟である“サンシャインさわらび”を提供することとなりました。ボランティアの方々は朝夕にグループホームへ挨拶がてら声をかけてくださいました。

震災の被害を受けた方々へ直接支援にはなりませんが、少しでも苦しんでおられる皆様の助けになればと願っています。

編集委員のつぶやき

今年度も四半期が過ぎました。４月の地震から始まり、７月の豪雨など、日本各地で多くの自然災害が発生しています。一瞬で何もかもが変わり果てる姿は脅威ともいえます。けれど、自然相手ではどうすることも出来ません。しかし、人間が生きる為に大きな恩恵を与えてくれるのも自然です。備えられる準備は怠らず、自然と仲良く付き合っていくことが今も昔も変わらぬ自然と共生するということなのかもしれませんね。

被災された皆様並びにそのご家族様に心よりお見舞い申し上げます。

（担当：山下照子・小川　景・佐竹美香）

平成29年度 会計報告

事業活動計算書

（自）平成29年4月１日　（至）平成30年３月31日

（単位：円）

勘定科目			29年度決算
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	731,975,560
		児童福祉事業収益	11,040,150
		保育事業収益	134,467,616
		経常経費寄附金収益	725,000
		サービス活動収益計(1)	878,208,326
	費用	人件費	609,854,591
		事業費	116,050,747
		事務費	44,538,922
		利用者負担軽減額	21,453
		減価償却費	61,209,554
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 24,571,615
		徴収不能額	0
		サービス活動費用計(2)	807,103,652
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		71,104,674
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	437,600
		受取利息配当金収益	1,538,806
		その他のサービス活動外収益	1,591,390
		サービス活動外収益計(4)	3,567,796
	費用	支払利息	1,271,157
		サービス活動外費用計(5)	1,271,157
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		2,296,639
経常増減差額(7)=(3)+(6)			73,401,313
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	5,470,000
		固定資産受贈額	10,199,982
		特別収益計(8)	15,669,982
	費用	固定資産売却損・処分損	83,644
		国庫補助金等特別積立金積立額	5,470,000
		その他の特別損失	514,303
		特別費用計(9)	6,067,947
	特別増減差額(10)=(8)-(9)		9,602,035
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			83,003,348
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		755,071,043
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		838,074,391
	基本金取崩額(14)		0
	その他の積立金取崩額(15)		20,000,000
	その他の積立金積立額(16)		28,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		830,074,391